

市長メッセージ（令和2年4月30日）

本日4月30日、横須賀市議会臨時議会が開催され、総額450億円におよぶ補正予算を可決いただきました。

今回の補正予算の主な内容は、次の3つです。

まず、皆さんの暮らしへの支援として、国の緊急経済対策に基づく市民一人あたり10万円の給付や、子育て世帯に対する1万円の給付、そして生活が困窮された方に対する家賃相当の助成などです。

次に、事業を営む方への支援として、最大40万円までの横須賀市独自の家賃補助に加え、融資を受ける際の信用保証料の補助、そして商店街への電気料金補助の引き上げなどです。

最後に、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、横須賀PCRセンターの設置や帰国者・感染者相談センターの体制強化、福祉施設などへの物品購入補助などとなっております。

また、補正予算とは別の取組みですが、市から発注する業務について、現在の厳しい状況を踏まえ、市内事業者に限定した発注をこれまでよりもさらに拡大し、皆さんの受注機会を増やしていきます。

特に工事につきましては、今年から整備が始まる横浜F・マリノスの練習拠点整備を中心とする大型工事を、市内事業者限定で発注することを決定しました。総額約52億円の大型工事ですが、適切に分離・分割することで、土木、建築、解体など多くの市内事業者の皆さんに発注していきます。

これ以外の工事や物品調達等につきましても、可能な限り、市内事業者限定で発注していく予定です。

この度、新型コロナウイルスによって影響を受けている方々に対して、これからも多様な支援を行うため、市が20億円を拠出して新たに基金を創設しました。明確に財源を確保して、速やかに支援策を行うことで、この難局を乗り切っていきたいと思っています。

私は、横須賀で暮らす私たち皆が、一つの家族だと考えています。非常に厳しい財政状況であっても、可能な限りの経済支援を実施していく中で、皆で支えあい、助け合っていくことができればとの想いで、この基金をつくりました。

皆さんにおかれましても、この想いにご賛同をいただけましたら、ぜひ基金への寄付をご検討いただけたら幸いです。多くの方々の力と想いを集め、一丸となって進んでいけたらと願っております。

これからゴールデンウィーク本番に入ります。明るい未来を迎えるためには、今日という日を、一日、一日と乗り越えていかなければなりません。今日の私たちの行動が2週間後の横須賀市、そして世界の将来を左右します。

最後にもう一度繰り返しになりますが、世界の人々と心を合わせ、新型コロナウイルスの早期の終息のために、徹底した外出自粛をお願いいたします。

よろしくお願いいたします。